

洪水の危険性と注意点

洪水が起こるのは?

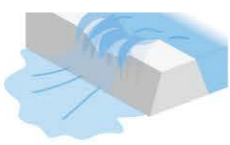
1. 堤防の決壊

- 河川の水が堤防内にしみこみ、堤防が弱くなり起こります。
- 速い水流によって堤防の河川側が浸食されて起こります。



2. 堤防の限界(越水)

- 増水により河川の水が堤防を超えあふれでて、堤防の市街地側が削られます。



氾濫危険水位

河川氾濫のおそれがある水位

利根川(栗橋) 江戸川(西関宿)

8.80m 8.70m

避難判断水位

避難情報の発表目安となる水位

6.90m 7.90m

※2021年3月時点の水位です。

最新の災害情報を入手しましょう P40

洪水の大元は?

台風や前線の停滞によって数時間にわたり大量の雨が降る集中豪雨、一時的に激しい雨が降るゲリラ豪雨に注意が必要です。

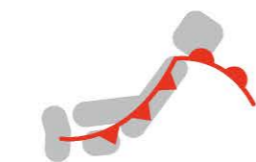
1. 台風の接近

台風は反時計回りに風が吹いています。そのため、台風の東側では台風の進行方向と風の向きが同じになるので、強風となる可能性が高いです。また、西側では比較的風は穏やかですが油断は禁物です。



2. 前線の停滞

日本付近では、6月頃に梅雨前線、9月頃に秋雨前線が停滞します。



3. ゲリラ豪雨

大気の状態が不安定な時、積乱雲が発達します。

- 真っ黒い雲が近づいてくる。
- 雷の音が聞こえてくる。
- 急に冷たい風が吹いてくる。



浸水の深さと避難行動

浸水の深さによって状況は異なります。状況に応じた避難行動を考えましょう。

【浸水の様子】

5.0m以上の浸水

- 2階の屋根以上が浸水
- 水流が強い場合には、木造住宅が倒壊、流出する危険がある



3.0~5.0mまでの浸水

- 2階が浸水
- 水流が強い場合には、木造住宅が倒壊、流出する危険がある



0.5~3.0mまでの浸水

- 2階の床下まで浸水
- 1階部分が浸水
- 強い水流の中を歩くことは危険



0.5m未満の浸水

- 床下浸水
- 大人のひざ下程度
- 浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険



【避難行動】

浸水しない地域の親戚・友人宅または避難所に避難!

- 4階建て以上の建物または浸水しない地域の親戚・友人宅へ早めに避難しましょう。
- 近くに高い建物がない場合や、親戚・友人宅への避難ができない場合は、浸水しにくい地域の避難所へ早めに避難しましょう。

高い建物または浸水しない地域の親戚・友人宅に避難!

- 近くの高い建物などに避難するか、浸水しない地域にいる親戚や友人に避難させてもらえないか相談しましょう。
- 近くに高い建物がない場合や、親戚・友人宅への避難ができない場合は、浸水しにくい地域の避難所へ早めに避難しましょう。

自宅の2階以上または近くの高い建物に避難!

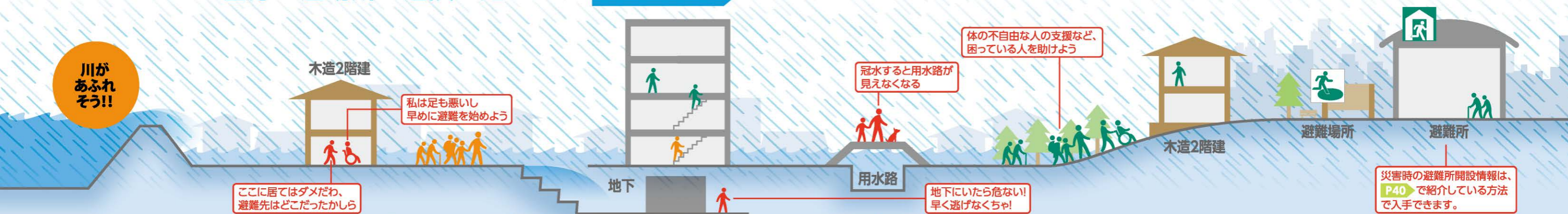
- 自宅の2階以上の窓から離れた場所や、近くのマンションなどに避難しましょう。
- 平屋の家で近くに高い建物がない場合は、浸水しない場所にいる親戚や友人に避難させてもらえないか相談しましょう。

自宅の安全な場所で待避する!

- 自宅の2階以上や窓から離れた安全な場所に避難しましょう。
- 水の深さが0.5m未満でも、大雨の時は水が濁っており、足元は見づらくなっています。側溝などに足をとられ大怪我をする場合があるので、外に出るのはやめましょう。

リスクマップで自分の居場所の危険を知ろう

P14~35



川に近づかない!!

ライブカメラの活用

大雨・洪水時の河川は水位が短時間で急上昇するため、気づいてからでは逃げられません。大変危険なので、絶対に近づかないでください。

河川の様子はライブカメラ画像で確認しましょう。

https://www.ktr.mlit.go.jp/river/bousai/river_bousai00000080.html



適切な避難方法を

洪水時の避難方法

- ①垂直避難(高いところへの避難)
- ②浸水しない地域の親戚・友人宅へ避難
- ③浸水しない場所での車中泊避難
- ④近くの避難所へ避難



詳しくは次のページ上部へ!

屋内安全確保

浸水がすでに始まっている場合は今いる建物内で垂直避難

浸水が始まっているときに外へ移動するのは大変危険です。



避難の注意

地下は危険!!

短時間の大雨により、地下に水が流れ込んだ場合、少しの浸水でも水圧で扉が開かなくなったり、階段を上げられなくなります。

地下からは、早く避難しましょう!



避難の時は足元注意!

浸水している場所を歩くときには、棒などでマンホールや側溝などをよく確認し、注意して避難しましょう。水の深さが膝を超えると歩行が難しくなります。(流れが速い場合などは状況が異なりますので目安として知っておきましょう)

大人男性 ... 水位 70cm
大人女性 ... 水位 50cm
子供 ... 水位 20cm



アンダーパスに注意しよう!

アンダーパスとは、交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっている道路のことをいいます。地形的に雨水が集中しやすい構造となっています。大雨、洪水時には自動車での侵入はやめましょう。

